

2019春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

No. 63

2019年 3月15日

日本鉄道労働組合連合会

J R 九 州 労 組

ベア300円・夏季手当2.56ヵ月で妥結

～5年連続のベア獲得、地域社員の基本賃金を大幅見直し～

J R 九州労組は本日、2019春季生活闘争の第4回団体交渉を行い、会社から2019年度賃金改定、同夏季手当、勤務・賃金等の一部改正について回答を受けた。

賃金改定については、仕事給昇給額表に掲げる額での仕事給昇給の実施、ベースアップ300円（5年連続、地域社員・嘱託再雇用社員200円）、夏季手当については2.56ヵ月分、勤務・賃金等の一部改正として、フレックスタイム制の新設や地域社員の処遇改善（基本賃金表の見直し、出向・待命・自己都合・公職・刑事休職の新設、出向・出向特別手当の新設）、保護具（空調服）の新設などが回答として示された。

回答を受けてJ R 九州労組は、次年度以降、固定資産税や減価償却費などの増加で厳しい事業運営が想定される中、前年同額のベアを獲得したことや地域社員の基本賃金表の大幅な見直しを実施すること、夏季手当についても株式上場以降、最高の支払月数となったことなど、会社として精一杯の回答を行ったと判断し、席上妥結した。

併せて、会社からは口頭で「65歳以降の高年齢者の働き方については、世間動向を注視しながら、次期労働協約改訂にむけて勉強していきたい」との考えが示された。